

## ホームヘルパー奮闘記 vol.3



今回のお話は  
サービス提供責任者  
村山 和美  
です。



ヘルパーとして働き始めて20年が経ちます。あっという間に時間が流れることに改めて驚きます。こんなに長く勤まるとは思いもよませんでしたが、やはり人生の先輩であるご利用者様から多くのことを学ばせて頂いたお陰だと思います。

当時の私は「役に立ちたい」の一心で活動していました。活動時間も今と違いずいぶん長く、内容も自立支援とは異なりご利用者様が出来難いとおっしゃることは何でもしていました。研修でよい支援とは?と勉強しながら現実とのギャップに自問自答し悩んだ日々を思い出します。

ある日、ご利用者様宅で庭先に季節はずれの花が一輪咲いていました。思わず私は「あれ、あの花、狂い咲きですね。」というとその方は「あれは迷い咲きよ。」とおっしゃいました。漫然と活動していた自分自身を恥ずかしいと心から思ったものです。リウマチを患い自立歩行も難しい状態でありながら、ご主人のお世話を一生懸命されており、リウマチにより強張った指先で絵手紙を描く趣味も持たれていました。不自由な身体と向き合いながら前向きに楽しさを見つけておられる姿がとても印象的で、人生観を揺すられました。私は今でも「将来の自分はどうだろう。そんな風に生きられるかな。」と沢山のご利用者様を通して自分自身の生き方を考える機会をいただいている。

様々なご利用者様のそれぞれの想いに寄り添い、信頼を築きながら住み慣れた家で自分らしく生きることを支援させていただくことが私たちの仕事です。私自身も健康新年を留意しながら、これからもヘルパーの本分の元に頑張っていきたいと思います。



今回のクローズアップは、今年で入職40年を迎える当苑の象徴ともいえる佐藤看護主任です。ほぼ開設当初から勤務されていますので、まさに生き字引的な存在。この度、功績が認められ厚生労働大臣から表彰を受けました。その佐藤看護主任が現在の想いを語ってくれました。

玉光苑  
キラキラ瞳のスタッフ紹介



看護主任 佐藤ひとみ

施設の建て替えから3年が経ち、ご入居者様も環境に馴染まれたようで体調を崩すことなく新年を迎えたことを心より喜んでおります。これもご入居者様の体調管理において日頃からの観察力と気づきが体調不良の早期発見、早期治療に繋がっております。

さて私事ではございますが、今年で入職40年という節目に突入いたします。

今まで様々な出来事があり、一言では言い尽くせませんが、この年月を大変なく勤続させていただきましたことは、ご入居者様からの温かいお言葉やご家族の皆様方、理事長はじめ職員の皆様のご指導とご支援によるものであり心から感謝申し上げます。

時に疲弊することもありますが、その都度「あんたが来てくれて安心や。」といったお言葉を聞くと不思議と力が出てきます。若い頃に比べるとフットワークの部分では劣りますが経験値と「玉光苑愛」は誰にも負けません(笑)。

これからも「利用者本位」という理念を実践ていき、ご入居者様が安心して生活していただけますようチーム一丸となって努力していきたいと思います。

皆さんにとって健やかな年ありますことを心からお祈りいたします。

◎次回は4月号です。情報満載でお届けします!お楽しみに!

新年を迎え、気持ち新たにしているところです。皆さんは今年の抱負はお決まりでしょうか。私はいつもこの時期に抱負を掲げ、2月にはほぼ忘れてしまうというのが毎年の恒例となっていますが、今年の抱負は「禁煙」です。百害あって一利なしといわれている喫煙を断つことをここに宣言します。次回の新聞発行は4月を予定していますが、それまで覚えておられるか自信はありません。(笑)しかし新聞を通してご利用者様の笑顔をお届けする自信はありますので、これからも玉光苑新聞をお楽しみください。

## ボランティアの皆さま いつもありがとうございます。

当法人の運営にあたり、いつもサポートをして下さるボランティアの方をご紹介いたします。

### アミリア(森崎文子、松下小百合) 様

毎月、特集とディサービスに「ピアノとバイオリン演奏」の素敵な音色を届けて下さっています。素敵なドレスをまとい、ご利用者の方に喜んでいただける演出をいつも考えて下り、まさにプロ。今年も心が通るような感動の音を届けてください。

### 地域ひとネット(寺島 恵理) 様

寺島様の訪問は今年で12年目に突入です!囲碁ゲームを通して、コミュニケーションをとることで自然と笑顔が増えています。寺島様のコミュニケーション能力の高さも素晴らしい、私たちスタッフはいつも尊敬しております。これからも一緒に歳をとっていきましょう(笑)

### 橋本五十鈴 様

読み聞かせの先駆者であり、この道45年の指導歴を誇る橋本先生の読み聞かせは、聞く側の心が揺さぶられます。子どもは勿論のこと大人や高齢の方でも絵本・紙芝居の世界観に引き込まれていきます。初めて橋本先生の読み聞かせを聞いた時の感動は今でも肌寒いです。

これからもよろしくお願ひいたします。



## もちつき大会

昨年、12月20日(火)毎年恒例、種田保育園と合同で「もちつき大会」を行いました。ご利用者様は昔ながらの「杵と臼」を用いての餅つきを懐かしみ、保育園の子どもたちが一生懸命に花餅を飾る姿に目じりを下げていました。つきたてのお餅をせんざいやあんこ餅にして、みなさんで美味しく召し上がりました。



# 玉光苑新聞

「玉光苑News」～情報、笑顔をお届け～

vol. 11

2017 1月号 発行元/玉光苑

祝 安東バスエ 様

## 「百寿を祝う会」



皆 様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げま す。

昨年は熊本を中心とする地震の経験によりご利用者様の安心・安全を守ることの責任を改めて強く感じました。また心豊かに暮らして頂ける環境づくりに心がけてまいりました。とりわけ年間を通して、地域の皆様方やボランティアの皆様方のご協力を賜り、ご利用者様の生活に活力と楽しみを頂きましたことを心から感謝申し上げます。

さて、平成29年酉年は「団塊世代」が古希を迎える年です。超高齢社会の到来を案ずるのではなく住み慣れた地で、お互いを想いながら老若男女が生きがいを持って生活していく社会づくりの一助となる法人、施設を、目指したいと存じ

昨日12月14日(水)安東バスエ様の満100歳を祝う会が盛大に開催されました。

内閣総理大臣からご祝辞と記念品が授与され、大分県知事並びに大分市長からもご祝辞をいただきました。

幼い頃から家業を手伝い、「うちで出来た米は1等米やったんで。」といつも嬉しそうに話してくれます。ご自分の家族を持ててからは、内助の功でご主人を支え、子どもたちを立派に育て上げてきた安東様ですが、以前、娘様にどんなお母さんでしたか?と尋ねたところ「周りからはべっぴんと評判で、父を引き立てるまじめな性格な母でした。運動会の時に作ってくれた巻き寿司は今でもうれしい思い出です。」とお聞きしました。

いつもご家族のことを気にかけておられる安東様ですが、子どもさんをはじめ大家族に温かく支えられて過ごされています。

苑でのお暮らしの中でも、ユーモアのある発言で周囲を笑顔にして下さるなど、ムードメーカー一面もあり、私たちにとっても大きな存在です。これからもお元気にお過ごしになられることをスタッフ一同、願っております。

今回、安東バスエ様が満100歳になられたことで、当苑では100歳以上の方が4名となりました。最高年齢は104歳です。

ますますご長寿施設として「ご利用者本位」のサービスをお届けしていきたいと強く思う「百寿を祝う会」となりました。



ます。本年も施設サービスのみならず在宅サービスをご利用されている皆様方の満足度も高めていくことに努め、ご利用者様本位を実現する介護力の創出に引き続き取り組んでまいりますので皆様方のお力添えをお願い申し上げます。

本年が皆様方にとりまして、素晴らしい一年になりますよう心から祈念申し上げて新春のご挨拶をいたします。

社会福祉法人 瞳山会 理事長  
特別養護老人ホーム 玉光苑 施設長

秦 勝子



## 従来型 特養イベント

## 百寿タウンvs藤タウン

## 大運動会



昨年10月にタウン対抗の運動会を開催しました。前回のタウン対抗は「風船バレー対決」でしたが、今回は総合力が試される運動会での対決となりました。タウンのプライドと誇りをかけた熱い戦いが繰り広げられ、会場は熱気に包まれていました。序盤は気合十分の百寿タウンが得点を重ねリードし、追う展開の藤タウンでしたが、さすがの試合巧者で徐々に点差を埋め、最後のリレー対決を制した藤タウンが逆転優勝をされ、「風船バレー対決」に続きタウン対抗戦2連覇を達成しました。

綱引き、パン食い競争、玉入れ、リレー等、皆さん真剣な表情で心地よい汗をかいた1日となりました。

## 藤タウン「バーベキュー大会」

昨年10月、藤タウンのご入居者様と屋上庭園にて「バーベキュー大会」を行ないました。屋上庭園での食事は夏祭り以来でしたが、当日は秋とは思えない程に気温が上昇したのでビールの消費が想定よりも上回りました(笑)。



食堂で召し上がるのとはまた違って自然の風を感じながら、食事するというものは食欲も進むようで、さざえ・海老などの海鮮物や豊後牛に舌鼓を打ちながら、秋の季節を感じられた一日となりました。本年もご入居者様の思いに寄り添ったケアを心掛けまいります。

## 百寿タウン「忘年会」



昨年末、ご入居者様とスタッフを交えて忘年会を開催いたしました。オードブルは皆様のリクエストに応じたものをご用意させていただき、ビールや焼酎などお好みのお飲み物と合わせて美味しいいただきました。大変美味しかったとのことで、どのテーブルも残すことなくきれいに召し上がってきました。その後、百寿タウンでの生活のご様子をスライドショーで流しながら、1年間を振り返り「楽しかったな。」と思い出して笑顔になられる場面も多く見られました。平成28年をご入居者様と一緒に忘年会という形で締めくくることができ本当に嬉しく思っております。本年も皆様と一緒に心温まる時間を共有したいと思います。

## ユニット型 特養イベント

## 誕生日会



ユニットでは、お一人お一人の想いに添った誕生日会を開催しております。この日は韓流ブームの火付け役となったヨン様こと「ペ・ヨンジュン」が大好きなご入居者様の誕生日に、ヨン様のパネルを一面に飾り、他のご入居者様と一緒にお祝いをさせていただきました。ヨン様ファンになったきっかけの「冬のソナタ」の名場面をスクreenで上映し、あの主題歌を聞き、ヨン様尽くしの一日となりました。この日のために作成したCDは今もお部屋で毎日流れています。 サランヘヨ♡

## クリスマス会



クリスマスシーズンとなった21日、玉のまちでクリスマスパーティーを開催しました。クリスマスといったらチキン! ケンタッキーフライドチキンを食べ、ピザを食べ、ケーキは手作りで♪



すると、突然サンタさん登場! ダンスをするサンタさんに、最高齢104歳と101歳のご長寿コンビも満面の笑みになりました。サンタさんからのプレゼントに喜び、最後は豪華景品を獲得するため「じゃんけん大会」で盛り上がりました。普段おしとやかな方も、この時ばかりは真剣な表情で新しい一面が見られました。

## 焼き芋パーティー



5月に玉光苑ファームに紅はるか(通称かんたくん)の苗を植え育てた芋を、石焼芋にしてご入居者様とスタッフみんなでいただきました。まずは炭火をおこし、待つこと1時間…出来立てほのかの石焼芋をみんなでおぼる姿は、昔を思い出させていただけたように感じました。

芋掘りをしてくれたご入居者様は「これが掘った芋か、おいしいな」と深く噛みしめて召し上がってきました。玉光苑ファーム、今年は夏にスイカをほおばりたいです。



## デイサービスセンター

## 紅葉狩リツアーコースin耶馬渓

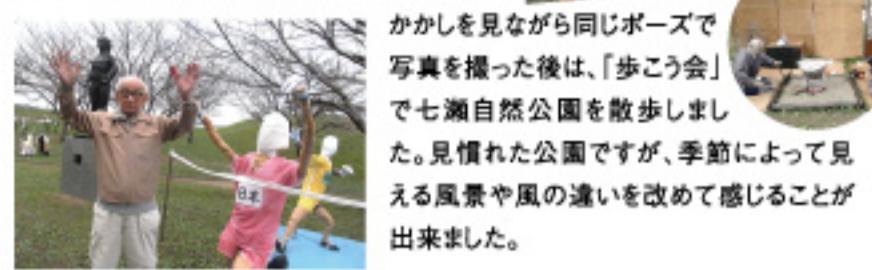
昨年11月下旬、紅葉の名所「耶馬渓」にドライブに行きました。「道の駅:玖珠」でお好みの食事を楽しんだ後、紅葉狩を行いました。ご家族に「お土産」を購入されるご様子は、とても嬉しい表情からも自信を感じられました。外食をされ、買い物を楽しみ、季節を肌で感じ刺激的な1日となりました。



「道の駅:玖珠」のスタッフの方々が大変親切にして下さり、私たちスタッフも心が温まりました。ありがとうございました。

## 歩こう会inななせ案山子祭り

毎年恒例の「七瀬 かかし祭り」に行きました。昨年はセンターでも3体の案山子を作り好評だったのですが、「かかし祭り」のリアル案山子は年々とグレードが上がっており、ご利用者の皆様も驚いていました。



かかしを見ながら同じポーズで写真を撮った後は、「歩こう会」で七瀬自然公園を散歩しました。見慣れた公園ですが、季節によって見える風景や風の違いを改めて感じることが出来ました。

玉光苑劇場  
今昔物語 第3話

今回の今昔物語は、当施設最高齢104歳丁さんの物語です。

明治45年、大野郡野津町(当時)で生まれ、小さなころから6人兄弟で助け合い、家業である農業を支えていたとのことです。

両親に大切に育てられた丁さんも年頃になり、ご結婚され4人の子宝にも恵まれました。家族が健康に毎日を過ごすためには、「食事が大切」ということで、料理教室に通い、1日10品目を食べることを決まりとして毎日、ご主人と子どもたちのために食事を作ることを喜びにされていたようで、その想いは娘さんへとしっかり受け継がれています。

丁さんの「食」への教えを受けて育った、ご長男は野津町で茶園を開業し、批判的な声も少なくなかった有機農法を「安心・安全が最も大切」といち早く取り入れたそうです。それまでの苦難や逆境を乗り越えていく様子が、大分で有機栽培に情熱を燃やしている緑茶農家を題材とした映画「種まく旅人～みのりの茶～ 塩谷 俊監督」のモデルとなっており、知る人ぞ知るという人物です。

丁さんも「うちの長男はお茶屋の親分でな、みんなに社長、社長っつ呼びられるんや。」と嬉しそうに何度もお話をされるほどご自慢です。

104歳となった今、娘さんの面会の際に施設内を一緒に散歩し、「お茶を楽しむひと時が生きがい」と、おしゃっていました。また、ここでの生活は「みんな優しい。感謝感謝、ありがとう。」と両手を合わせてくれます。信楽焼のお風呂に入るのが好きで、いつも「極楽極楽」と両手両足を伸ばしてゆっくりと入られます。

最後に長寿の秘訣を伺うと「自由に、ゆとりを持って生きること」と笑顔で教えていただきました。

これからもお元気にお過ごしください。貴重なお話ありがとうございました。

次回もお楽しみに!

